



学校教育目標 **にこにこ笑顔・ときどき挑戦・どんどん響き合う 傍陽の子**

児童の実態

- ・健康的な生活をしている児童が多く、欠席が少ない。体を動かす活動や遊び体験に課題がある。
- ・友と関わる学びに成果が出てきている。一方で、受け身の傾向もある。
- ・学習にまじめに取り組み、学力を身に着けている。表現力や思考力には課題がある。

学校の願い

- ◇基礎学力定着、思考・表現力の向上
- ◇明るい挨拶、思いやり・温かい声かけ
- ◇心身のバランス良い成長と体力の向上
- ◇ふるさと傍陽への愛着・誇り

保護者・地域の願い

- ・基礎力、学習意欲の向上。健やかな心身の成長と体力の向上。
- ・気持ちよい挨拶と、近しい集団の中での意欲的なコミュニケーション。
- ・主体的に行動し、自分の思いを表現できる。
- ・傍陽を愛し誇りに思う気持ち。

にこにこ笑顔 【健やかな心と体】	ときどき挑戦 【原体験の感動と語り】	どんどん響き合う 【確かな学びと支え合い】
① 自他の命と人権を大切に伸びようとする子 ② 体を動かし、遊び学んで生きぬく身体をつくる子	① 原体験にひたり楽しめる子 ② 思い・考えを持ち、友と深める子 ③ 自ら判断して、表現する子	① 思いやり、協力し合える子 ② 個の学びと学力の向上、共に伸びる喜びを感じる子

〔本年度の重点目標〕

『ことば』で自分を伝えよう

—自分の思いを自在に語るために—

〔重点目標の実現に向けて〕

1 太陽のような コミュニケーション	2 傍陽に遊び学んで 思いを語る	3 支えあう仲間 個と協働の学び
① 温かなコミュニケーション ② 児童の自発的な表現を褒め認める ③ 学校支援ボランティア、地域との交流の場の充実	① 地域や学校を舞台に、遊び学ぶ活動 ② 感動を個から全体に語り拡げる ③ 語るための基本的な学力の定着	① 人権同和教育の視点に立った指導 ② UD化・ICT・デジタル教科書活用の授業改善 ③ 異年齢交流・キャリア教育の充実

地域と歩む学校～信州型CS 傍陽の子どもを育む会

- ・地域の方々の学校支援ボランティアへの参加の奨励。
- ・ふれあい広場・読み聞かせ・クラブ・行事
- ・積極的な情報発信。

施設、自然・歴史、文化的環境、人的環境

- ・傍陽の自然・歴史、文化、人に触れる学習。
- ・異学年交流と人間関係の広がり。
- ・タブレット、視聴覚機器、ICT・デジタル教科書等の有効活用。

授業改善への取り組み

- ・学習指導要領、新教科書のもと、信州型UD（授業がよくなる3観点等）で、深い学びにつながる学習活動のある授業設計を行う。
- ・授業のUD、学びの個別最適化、授業改善・学習環境の整備を進める。ICT教育・デジタル教科書の有効活用。
- ・NRT、全国学力・学習状況調査等、諸検査の結果を分析し、子どものつまずきを明らかにし職員間で共有して、具体的な手立てを講ずる。
- ・インクルーシブ教育、人権同和教育の研究を深める。

家庭学習の充実

- ・「家庭学習の手引き」により、宿題、内容、時間、見とどけについて検討し、家庭と連携を図る。
- ・授業との関連性・発展性があり、発達段階に応じた意欲が高まる内容の家庭学習にする。
- ・生活学習ノート「紡ぐ（つむぐ）」を活用し、家庭学習の習慣化を図る。